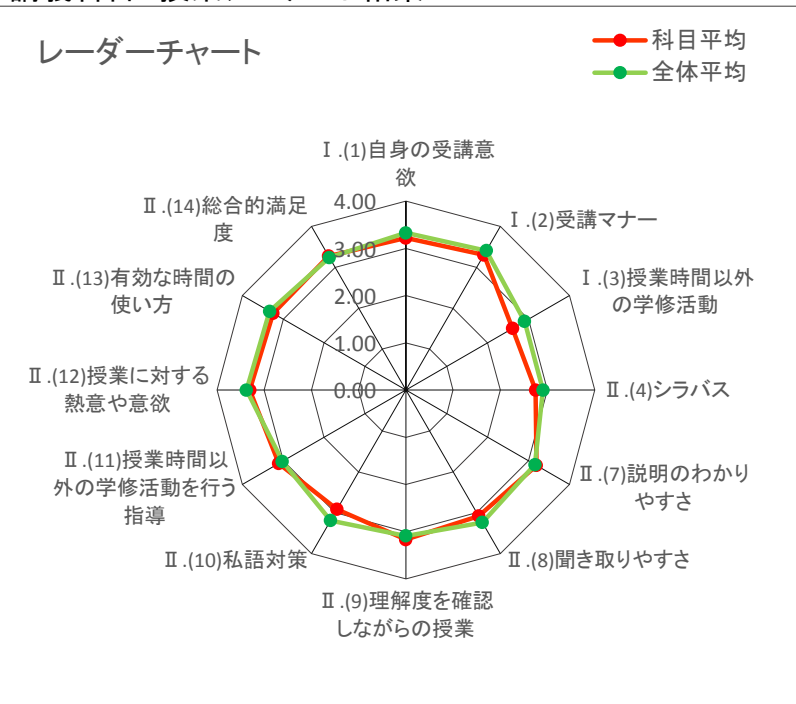
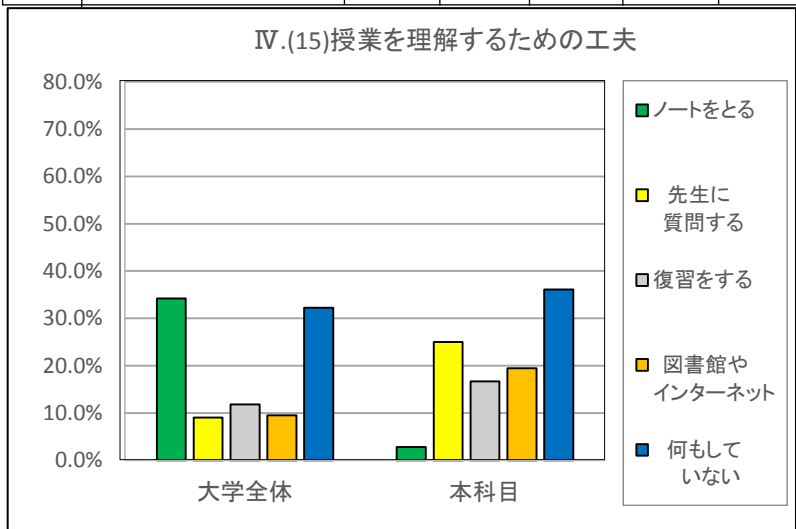


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	2.8%	25.0%	16.7%	19.4%	36.1%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	21112
科目名	生活科指導法
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.22	3.33
	I.(2)	3.31	3.41
	I.(3)	2.61	2.91
講義内容・方法	II.(4)	2.75	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.19	3.16
	II.(8)	3.08	3.24
	II.(9)	3.17	3.09
	II.(10)	2.92	3.19
	II.(11)	3.11	3.03
	II.(12)	3.31	3.38
	II.(13)	3.25	3.33
	満足度	II.(14)	3.28

①授業計画の達成度について  
 当該受講生は、教職だけでなく、企業(音楽・スポーツを含む)への就職希望者が多い。指導法の習得という目標に変更はないが、リアルタイムで学生の実態に応じて、内容は修正していく必要があった。概ね指導計画は達成したと考えられる。

②授業の進め方について  
 授業の進め方は、他の生活科指導法のクラスに詳細を記載した通りである。授業を進めるごとに模擬授業の相互評価の質も徐々に高めることができた。特に、次年度の教育実習を想定して、学級における具体場面や子ども理解及び関わり方について重点を置いて進めた。指導案作成にあたっては、課外で、メール添削指導及びリハーサルを毎週行った。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について  
 総合的満足度は、平均より高いとはいえ、同じ授業の他クラスと比較すると、0.5ポイント低い。よかった点の自由記述には、「夢中で授業に参加できた」「とても明るく楽しい授業でした」「実際にアサガオを育てさせてくれた」「頑張った分、評価される」に見られることから、継続する点を精査して、さらなる実践力の定着を図る工夫改善に努めていく。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.05	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.10	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.28	3.24
III.(14)		